

# SOAI

## 相愛ファミリア

相愛大学 [www.soai.ac.jp](http://www.soai.ac.jp)  
〒559-0033 大阪市住之江区南港中4丁目4-1  
相愛中学校・相愛高等学校 [www.soai.ed.jp](http://www.soai.ed.jp)  
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-23

2017 No. 32

# familiar

気配りを実践する日々  
今に生きる相愛での学び

インタビュー・社会で活躍する卒業生

**原 ほんさん**

株式会社長谷工コーポレーション  
関西営業企画部



# 気配りを実践する日々 今に生きる相愛での学び

## 社会で活躍する卒業生

株式会社長谷工コーポレーション  
関西営業企画部

### 原ほのさん

創業80周年を迎えた長谷工コーポレーションの  
関西営業企画部で秘書をしている原ほのさん。  
「毎日が勉強の連続。担当している役員が、  
最善と思うことは？ そればかり考えています」  
笑顔が魅力の原さんに秘書の仕事について聞きました。



#### ◆感謝の言葉に喜びを感じます

まだ入社3年目。営業部門の役員3人のスケジュールや情報の管理を担っている。「心掛けてるのは、いつ、何を頼まれても、すぐ対応できるようにすること。それとどんなに忙しくても心に余裕を持ち、笑顔でいることでしょうか。最初のころは機転を利かせないといけない場面であたふたするばかりでしたが、秘書の仕事の大変さだけでなく、楽しさもようやくわかってきました。日々の仕事の中で役員から『ありがとう』と感謝の言葉をいただいたときに喜びを感じます」

会社には年齢が近い先輩社員が新入社員を指導するユニークな「ブラザー・シスター制度」がある。原さんもシスターだった先輩



から仕事に対する姿勢を教わった。「どんなに忙しくても、手を止めて丁寧に教えて下さいました。もちろん、いつも笑顔でね。憧れの女性です」

社員全員が宅建(宅地建物取引士)の資格を持つことが義務づけられている。「入社したばかりのころ、仕事を覚えながら一から宅建の勉強をするのは、正直大変でした。でも、毎日コツコツと知識を積み重ねていき、合格できたときは、ああ、これで私も長谷工の一員になれた、と感じて本当にうれしかったです」

#### ◆相愛高校で学ぶ楽しさを知りました

新しい知識を吸収する、そんなひたむきさは高校時代に身についたらいい。普通科の進学コースに在籍していた。「相愛の先生方の熱心な指導があって、勉強すればするほど成績がどんどん上がりました。勉強するのがすごく楽しかったのを覚えています。相愛では継続することの大切さも教わりました。そのおかげで希望だった関西大学政策創造学部に入学できました」

もうひとつ、身だしなみをしつけられたと振り返る。「当時は、なぜこんなに厳しいのかわかりませんでした。でも社会人になった今ではよくわかります。相愛は生徒の持ち味を伸ばしてくれる学校で、ひとりの女性として生きていく基本をしっかり教えて

くれる学校でした」。高校時代の一番の思い出は3年の体育祭。「私たちのクラスはソーラン節を踊ったんです。3か月ほど練習して本番を迎えました。大成功でした。衣装も作って、みんなでひとつのことを達成した感動は今でも忘れられません」

#### ◆高校時代から大事にしている3点セット

高校時代、毎日、礼拝で斉唱していた『日々の糧』は今も心の支えだ。なかでも誕生日の8日の言葉が好きだという。

8日 朝

笑顔で鏡を覗いたら 鏡の顔も笑ってた  
怒って鏡を覗いたら 鏡の顔も怒ってた  
人間も鏡のようなもの  
自分が笑って向かうなら 相手も笑ってこたえよう  
自分が怒って向かうなら 相手も怒ってこたえよう  
「当たり前なことだ」とは実行していることだ

「講堂に集まって、聖歌を歌いながら厳かに行う音楽法要には、最初びっくりしました。仏教に触れるのも初めてでしたから。でも相愛で出会った仏教の教えが普通の生活の中に生きているんです。お念珠と日々の糧、聖歌集の3点セットは今も大切にしています」



原ほの  
2011年3月 相愛高校卒業  
2015年3月 関西大学政策創造学部卒業  
2015年4月 株式会社長谷工コーポレーション入社

#### ◆これから

目標は？ そう尋ねたら、すかさず答えてくれた。「秘書として、担当する役員の時間を無駄にすることなく効率的に動いていただけるよう、もっと気配り上手になりたいと思っています。将来、結婚した後も、家庭と仕事を両立させてバリバリ働くのが目標です」。そんな原さんの仕事を元上司で、総務部長の福貴田保洋さんはこう評する。「どんなこともきっちり正確にこなすので、『原さんに任せれば大丈夫』という安心感があります。公私共に充実させて、さらに頑張ってもらいたい。大いに期待しています」



#### ◆後輩の皆さんへメッセージ

「何事にもチャレンジしてほしい。恐れずに一歩を踏み出してみてください。そして、一度始めたことは継続してほしいと思います。諦めずにコツコツと続けていると必ず身につきますから」

03 在学生 LIVE REPORT

相愛大学  
人文学部人文学科  
仏教文化専攻3回生  
高島見佳子さん

## 文化活動、スポーツに 充実の毎日

人文学部人文学科仏教文化専攻に在籍する高島見佳子さんは、インターネットの動画配信サービス「ツイキャス・ライブ」を利用して、大学の魅力や学びの楽しさを発信しています。活動を通してさまざまな気づきや可能性が広がることにときめき、新たな企画にも夢を膨らませています。



### 学びを実践につなげる

仏教文化を専攻していることから、学びを実践につなげるべく、今秋から大学の宗教行事の運営を手伝うようになりました。3、4回生の7人で「宗教文化研究隊」を発足させ、定例礼拝の運営に取り組んでいます。役割は、礼拝を知らせるアナウンスや司会、献花の補助など多岐にわたります。

寺社巡りも活動の一環として始めました。京都の八坂神社や知恩院を訪ね、読経を聞いたりと、どんな仏像があるのかを確認したりしています。「仏教を学ぶようになってから、境内の隅々までじっくり見るようになりました。宗派ごとの特徴が見つかるかとワクワクします」と笑顔で話してくれました。

### 大学生生活の楽しさを発信

同世代に仏教への関心を持ってもらいたいと、定例礼拝や寺社巡りの様子を動画で配信しています。

今年6月から大学の魅力や学びの楽しさを発信しようと学生企画で始めたツイキャス・ライブ「人文TV (https://twitcasting.tv/tvjibun)」のスタッフでもあったことから、二つの活動を融合させました。小学生のころから写真を撮るのが好きだったので、撮影を担当しています。

毎月1回程度メンバーで集まり、企画を練ります。構想中の一つに、留学生から日本暮らしの疑問を語ってもらうものがあります。「活動を

通じている人々との出会いがあり、見える世界が広がっています」。宗教文化研究隊と人文TVのスタッフとして、毎日が充実していると胸を張ります。

### 継続して打ち込む新体操

文化的な活動ばかりでなく、スポーツにも打ち込んでいます。4歳から始めた新体操は、今も日々練習を重ねています。得意種目はボール。投げた止まってきっちり受けられたときの「よっしゃー」という達成感が醍醐味です。努力を重ねたら重ねただけ結果を出せると彼女はいいです。競技を通じて、マナーや先輩後輩との上下関係、指導して下さる方々への姿勢など、人間として大きく成長することもできました。

相愛大学に入学して、新体操の同好会も結成。今後の目標は、来春の大会での納得できる演技です。「点数や順位ではなく、ここまで支えてくれた人のために感謝の気持ちを込めた内容に仕上げたいと思っています。観客を魅了できたら最高ですね」。自分への挑戦がしばらく続きそうです。

# 大学院音楽研究科誕生

2018年春、相愛大学に大学院音楽研究科が誕生します。演奏家をとりまく社会環境が大きく変化化する中、大学院を作る目的はなにか、カリキュラムはどのように構成されるのか。大学院音楽研究科長に就任予定の音楽学部黒坂俊昭教授に大学院の概要を、また大学院生の貴重な音楽体験の場となる「相愛フィルハーモニア」の活動について、相愛オーケストラ委員長の音楽学部 中谷満教授に聞きました。

まず、黒坂教授にうかがいます。  
大学院が掲げる教育目標は？

黒坂俊昭教授(以下、黒坂) 先ずは高いレベルの演奏、創作、研究の能力を有し、それを基に社会に貢献できる音楽家の育成をめざしています。最近の社会情勢を見れば、演奏家には演奏能力だけでなく、演奏会の企画の段階から取り組む能力が求められているのは疑いのないところです。加えてこれからの音楽家には、自分の専門分野を超えて音楽を幅広く捉えていくことも求められます。

そういった高い演奏等の能力、それを他領域の専門と総合し展開する能力を有する音楽家の育成が新しい大学院(音楽研究科)の教育目標です。

カリキュラムの概要は？

黒坂 キーワードは展開力、総合力です。『音楽によるアウトリーチ』『音楽療法特論』などの科目は、各自の実技能力を社会で展開する機会をつくり出すための研究です。病院や医療施設を訪問し、普段音楽に接する機会の少ない人たちにクラシック音楽を提供するアウトリーチは、院生の音楽展開力を養う上で貴重な経験となるでしょう。また音楽療法は音楽を用いた社会貢献としてだけでなく、音楽を用いたコミュニケーションの手段を会得する科目でもあります。

総合力を養うという観点からは『演奏理論特別演習』など、領域の枠を超えて研究する科目を開講します。またカリキュラムの基礎となる科目としては、音楽の理念的な側面を考察する『西洋芸術音楽総合演習』を設置します。この科目ではすべての領域の院生が一箇所に集まり、それぞれの立場から、音楽の意味、演奏する意味など、地域貢献からの視点も含めて「音楽すること」の意味を受講生全員で討論します。

さらに大学院では、演奏や作品を文章化する能力を重視しています。演奏家は演奏を行う際、自己を見つめる、作品を考察するといった客観的な営みを行なっています。そしてその営みに



黒坂俊昭教授

## 高い演奏、創作、研究能力を持つ 音楽文化に貢献できる人を育てる

は言語的要素が欠かせません。そういった音楽に関わる客観性を培うために『作品研究報告書制作』という科目を置いています。

実技という点では、専門分野の深化をめざし、個人レッスンの他に『オペラ特別演習』『室内楽特別演習』などを配置しています。とりわけ『オーケストラ特別研究』では、その研究機会が「相愛フィルハーモニア」によって提供されることとなっています。

その「相愛フィルハーモニア」について  
中谷教授にうかがいます。

中谷満教授(以下、中谷) 音楽学部のオーケストラはあくまでも定期演奏会での発表が主目的ですが、大学院でのオーケストラは「地域社会などでの即戦力」です。音楽研究科と連携予定の「相愛フィルハーモニア」の意義は大きいと思います。

相愛フィルハーモニアの構成員は大学院生のほか、大学の教員や、プロオーケストラで活躍する卒業生などの精鋭たちです。大学院生には卒業後も卒業生という形で参加のチャンスが与えられます。

また、練習形態は短期集中型を採用しています。練習期間が短いことはプロのオーケストラでは一般的で、学生はより実践に近い状態でオーケストラ、アンサンブルを経験し、学びます。

演奏以外の実践活動は？

中谷 大学院生は、アウトリーチ活動として楽団運営にも関わります。営業活動を行い、演奏機会を獲得するところから、収支、観客動員に至るまで、2年間でプロの演奏家のあり方、組織のあり方を実践的に学びます。

相愛フィルハーモニアには、すでに外部からの演奏依頼もあります。営利目的の活動ではありませんが、依頼公演にも対応します。その点も、大学院生にとっては社会との関わりのなかで自分の職業について考えるきっかけとなることでしょう。



中谷満教授



# 2018年春 アートプロデュース専攻新設

音楽学部音楽学科では時代に即した教育を進める改革の一環として、「音楽教育に革新を起こす。」の概要や、新設するアートプロデュース専攻について音楽学科長・斎藤建寛教授と志村聖子准教授に聞きました。



音楽学部教授 音楽学科長  
斎藤 建寛

奏でる人、聴く人を  
幸せにする専門家を育てたい。



音楽学部准教授  
志村 聖子



ず音楽系の基礎科目をしっかり学びます。楽器演奏を深めたい人には副科としての実技のカリキュラムも設けています。

志村 2年次からはゼミを通じて論理的に考え、議論する力を養い、卒業論文の準備を始めます。専門科目は大きくアートマネジメント系とIT系の科目に分かれて学びます。また『芸術企画研究』等の科目を通じて、外部のホール等と連携した企画制作の機会を提供する予定です。

斎藤 学内外でたびたび開催される教員・学生の演奏会、また国内外の著名な演奏家を招いての公開講座や公開レッスンは、とてもよい刺激になるでしょう。

## ●活躍の方向性は多様

…入学が想定される高校生のイメージは？

斎藤 高校まで音楽を学んできて、演奏家や研究者をめざす道だけでなく、別のアプローチで音楽に携わる仕事に就きたいと考える皆さんです。もちろん特別に楽器の教育を受けていなくても、学ぶことができます。

…卒業後の進路については？

志村 音楽ホールの管理運営者、オーケストラなど実演団体のマネジャーのほか、民間のイベント企画会社や音楽制作会社、アートNPOなどが想定されます。在学中に習得した様々なスキルは他の分野でも応用でき、多方面で活躍できると思います。

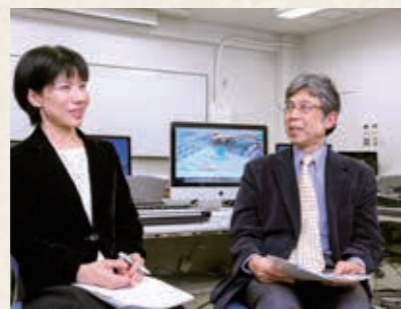
斎藤 音楽は人を幸せにする大きな力を宿しています。そのことを自覚しつつ、将来は社会人としてさまざまなイベントなど、与えられた場をより良いものにすべくサポートし、聴衆に喜びと感動を与えることに生き甲斐を見出してほしいと思っています。

な人材が十分に配置されていないのが現状です。そのため、芸術に対するニーズをくみ取り、特色のある事業を企画・制作したり、音楽の魅力や劇場の存在意義を発信できる人材の育成が社会的に求められています。このような社会的要請に応じて、新専攻が開設されることとなりました。

## ●新専攻で何を学ぶか

…アートプロデュース専攻の学びの基本は？

斎藤 学びの基本は「音楽に通じている」ということです。アートプロデュース専攻生はま



## ●アートプロデュース専攻の取り組み

…「2018年4月、音楽教育に革新を起こす。」の意味は？

斎藤建寛学科長(以下、斎藤) 次の3つの改革を実行します。まず、教育カリキュラムを一新し、各々の学生が描く将来設計に添った効率的な履修プログラムを提案します。次いで「アートプロデュース専攻」を新設し、音楽ホールの運営やイベントなどに携わり、演奏などのパフォーマーをサポートする人材を育成します。さらに、社会に貢献できる有能な音楽社会人を育てるための大学院を開設します。

…アートプロデュース専攻新設の経緯については？

志村聖子准教授(以下、志村) 日本には数千もの公立文化施設がありますが、地域の劇場や音楽ホールには運営を担う専門的



## 本場イタリアでのレッスンで成長 ミラノ・G.ヴェルディ音楽院夏期講習

8月20日～30日、学術交流協定校ミラノ・G.ヴェルディ音楽院にて実施された夏期講習に、10名の在学生と2名の卒業生が参加しました。

レッスンは5日間行われ、6日目に音楽院内にあるホールで行われた修了演奏会に出演。レッスンを担当する音楽院のS.マンガ教授(相愛大学客員教授)の熱心な指導によって、たった5日間で初日とは別人のように成長した学生たちの姿がそこにありました。

修了演奏会後はミラノ市内観光、ヴェローナの野外劇場にてオペラ鑑賞をし、イタリアの文化に触れ帰国の途に就きました。



## 自然と文化に触れた演奏旅行 相愛ジュニアオーケストラ 淡路島公演

昨秋に淡路島での公演依頼を受け、練習を重ねてきたジュニアオーケストラは、7月15日、洲本市文化体育館・文化ホール「しばえもん座」において、上田真紀郎先生の指揮のもと、「相愛ジュニアオーケストラ淡路島公演」を行いました。

公演当日、淡路島の中学生や高校生を招待して音楽鑑賞会を開催。午後からの本公演では、『J.S.バッハ/管弦楽組曲No.3』よりガボットとジーク、『芥川也寸志/弦楽のためのトリプティック』、『ホルスト/セントポール組曲』などを披露。鑑賞会、本公演ともに満員のお客様で、盛り上がった演奏会となりました。

終演後は福良港より日本丸に乗り「鳴門の渦潮巡り」、淡路人形座館で「戎舞」を鑑賞するなど、ジュニアオーケストラのメンバーたちにとって淡路の自然と文化に触れる、とても有意義な演奏旅行となりました。

## コンクール受賞者

- 尾野 佑一郎 1回生 ピアノ  
・ 第34回 JPTA ピアノ・オーディション D部門  
関西地区予選 奨励賞
- 羽田 愛莉 1回生 ピアノ  
・ 第27回日本クラシック音楽コンクール  
本選優秀賞(全国大会出場)
- 古谷 春佳 1回生 ピアノ  
・ 第34回 JPTA ピアノ・オーディション D部門  
関西地区予選 奨励賞
- 松田 明音 1回生 音楽療法  
・ ELECTONE FESTIVAL2017 奈良地区ファイナル 金賞
- 坂本 舞 2回生 ピアノ  
・ 第18回大阪国際音楽コンクールピアノ部門[Age-U] 入選
- 相愛大学サクソフォン四重奏 1・2回生 サクソフォン  
樺本 夏奈子、船迫 真衣、濱田 海宏、向井 萌々香  
・ 第13回くらしき国際サクソフォンコンクール  
アンサンブル部門 大学生・一般の部 第2位
- 木下 実優 3回生 ピアノ  
・ 第18回大阪国際音楽コンクールピアノ部門[Age-U] 入選
- 香村 珠穂 3回生 サクソフォン  
・ 第18回大阪国際音楽コンクール木管楽器部門[Age-U]  
エスポアール賞
- 竹村 まどか 3回生 トランペット  
・ 第18回大阪国際音楽コンクール金管楽器部門[Age-U] 入選
- 小西 稔大 4回生 サクソフォン  
・ 第13回くらしき国際サクソフォンコンクール  
ソロ部門 大学生・一般の部 第3位
- 芝内 あかね 4回生 チェロ  
・ 第71回全日本学生音楽コンクール地区大会  
チェロ部門 大学の部 第1位
- 廣瀬 喜美子 4回生 サクソフォン  
・ アマチュア第21回阪神淡路大震災復興記念  
KOSMA ソロ管楽器コンクール(公財)兵庫県芸術文化協会賞、金賞
- 喜 紗矢美 4回生 ファゴット  
・ 第22回 KOBE 国際音楽コンクール 奨励賞
- 黒田 美羽 専攻科 声楽  
・ 第18回大阪国際音楽コンクール  
声楽部門オペラコース[Age-U] 第2位(1位なし)
- 山本 舞 専攻科 声楽  
・ 第5回おおによし音楽コンクール奈良2017(なら予選会①)  
プロフェッショナル 声楽音大生院卒業生部門 奨励賞  
・ 第20回長江杯国際音楽コンクール  
声楽部門一般の部A 奨励賞  
・ 第18回大阪国際音楽コンクール  
声楽部門歌曲コース[Age-U] 入選
- 遠藤 映理 2017年卒業 声楽  
・ 第11回バーテン音楽コンクール近畿地区予選 優良賞
- 辻本 純佳 2014年卒業 サクソフォン  
・ 第13回くらしき国際サクソフォンコンクール  
アンサンブル部門 大学生・一般の部 第1位
- 田本 華子 2010年卒業 ピアノ  
・ 第18回大阪国際音楽コンクール2台ピアノ部門 第3位
- 三木 麻衣子 2002年卒業 声楽  
・ 第18回大阪国際音楽コンクール  
声楽部門オペラコース[Age-G] 入選
- 兼子 万実子 1989年卒業 ピアノ
- 吉田 壽美子 1991年卒業  
・ 第18回大阪国際音楽コンクール連弾部門 エスポアール賞
- 小椋 由美子 1982年卒業 ピアノ  
・ 第14回上方舞台の裏方大賞 大賞



● 積徹宗 1961年生まれ。大阪府池田市の浄土真宗本願寺派如来寺住職。相愛大学人文学部教授。2017年、第5回河合年雄学芸賞、仏教伝道文化賞の沼田奨励賞を受賞。

人文学部の積徹宗教授(宗教学)と落語家で客員教授の桂春之輔さんは、相愛大学ならではのユニークな公開授業『日本文化特殊講義』を開講しています。仏教と落語の「白熱講義」を通して日本文化の面白さを伝えるおふたりに語っていただきました。

—どんな授業ですか。

積 2011年から毎年、続けているんです。まず仏教と落語をテーマにした私の講義があって、落語の実演、師匠の芸談の3部構成になっています。実演は主に落語ですが、三味線や上方舞、講談、それに伝統的な日本仏教のお説教もあります。昔のお説教を聞くと、仏教が芸能といかに深くつながっているのか理屈抜きにわかります。授業には「相愛寄席」と銘打った落語会も組み込んでいて、とにかく実演の力は大きいですよ。

師匠 ほま、そうよね。落語を知ってもらうには、実際にナマの囃子を聞いてもらうのが一番ですから。できるだけ、いろんな囃子に高座へ上がってもらうようにしています。

芸談はね、落語の歴史なんかの勉強をしようとするれば本を読めばわかるので、私は活字にならないことを話しています。まあ、世間話ですわ。弟子入りしたきっかけや師弟関係などプライベートな話をするので落語家を身近に感じてほしいと思って。落語を理解してもらうひとつの形やと考えてね。客員教授は落語の宣伝になれば、と思って引き受けたんですよ。

積 落語は仏教のお説教がルーツなんです。江戸や明治の文献を読むと、お坊さんが寄席で話芸を学んだり、反対に芸人がお説教師の語りを盗んだりしていたようです。仏教と落語はお互いに刺激合って語りの技法が鍛錬され

# 仏教と落語を通して 日本文化の面白さを 伝える

対談

積徹宗教授  
桂春之輔客員教授



てきたところがあります。落語はお坊さんを揶揄したり、熱心に信心している人も笑いのにしますね、この破壊力が落語の魅力でしょうね。

師匠 「鳥屋坊主」など落語に出てくるのはろくでもないお坊さんばかりですな(笑)。

—初めて落語を聞く学生もいると思います。

積 ええ。学生は最初、どう反応しているかわからず戸惑っていますよ。それがだんだん変化するのを目の当たりにするのは楽しいですね。落語の世界に引きこまれ、感度が高まっていく感じがします。

師匠 わかりますわ。講義は全15回。毎回、違う囃子が出ますが、10回目くらいから囃子もやりやすくなります。それは学生さんが落語の楽しさを感じてくれているからでしょうね。囃子としてうれしいことです。

積 でもね、高座の横で師匠がクスリとも笑わず、座っているわけですから、囃子さんもやりにくいと思いますね(笑)。

師匠 まあね、授業だから仕方ないですよ。だけど、囃子の勉強にもなります。私自身も学生になった気持ちで学ばせてもらっているから面



● 桂春之輔 1948年生まれ。落語家。上方落語協会副会長。2011年4月から相愛大学客員教授。2018年2月、上方落語の大名跡「桂春團治」の4代目を襲名予定。

白いんです。

積 伝統的なものは発する刺激がかすかなので、キャッチする側が感度を上げる必要があります。これは日常生活でも役立ちます。かすかなものをキャッチする力があると、世の中の見え方が違ってくるし、人に対する感じ方も変わってくる。いい教育になっていると思います。

—学生に期待することは。

積 相愛は商人の町・船場で生まれた学校です。上方落語の中には船場文化がいまなお息づいています。船場文化に触れることで、大学へ誇りを持ってもらえたらうれしいですね。

師匠 若い人に「情」を知ってもらいたいですわ。親子、夫婦、師弟、兄弟などの「情」を描く上方落語には、日本人として大事なことが詰まっています。

積 来年、4代目春團治を襲名されますが、初代、2代目、3代目と違う春團治を見せてもらえるのをいまから楽しみにしています。学生たちもきっと楽しみにしていると思います。

師匠 ありがとうございます。プレッシャーはありますが、初代、2代目、3代目と、春團治はそれぞれ別ものですから、その点では気が楽々と思っています。春團治はこうあるべき、と決まっていたら、そもそも私なんかには資格ありません(笑)。

積 そんなことないですよ。いまの師匠のお話なんか学生にとっては感じるところがあるんじゃないでしょうか。生きるヒントになる気がしますね。

ドアを開けたら、またドアがある。次々と奥のドアが開いていくのが伝統芸の良さ、奥深さです。2人のどちらが欠けても成り立たない特殊講義、これからも二人三脚で続けていきたいですね。

## 上方落語論



落語の歴史を語らせれば右に出るものはないという桂文我客員教授の『上方落語論』。江戸落語との比較を通して上方落語の特質を浮き彫りにしますが、とにかく実証的なのです。入手しうる江戸時代以降の資料を駆使して実像を提示する手法は先生ならではのもの。もちろん実演もありますが、特筆すべきは、今は亡き名人の声色で当時の風情を再現してくれるところ。イメージがいついかに広がる時ききの90分です。

## 宗教心理学



シューイチ(日テレ系)でもおなじみ、精神科医の名越康文客員教授と、積徹宗教授による看板講義です。『宗教心理学』と聞くと難しく感じますが、この2人にかかれは「こんなに楽しい学びがあるのか!」というくらいユニークな学びの場になっています。「心」をテーマにする宗教と心理学を、一度に学べて二度おいしく、会社帰りの方もたくさん本町学舎に来られています。まだ見ぬ自己との遭遇を求めている方にオススメです。

SOAI 公開講座

# 地域に 広がる 相愛ならではの 学び

## 人文学を 楽しむ



専門分野について存分に語り、人文学の広がり、深さを楽しんでもらう「人文学を楽しむ」。10月14日、石川玲子准教授の講座では、ソネット形式(韻を踏んだ14行から成る欧米の定型詩)が『ロミオとジュリエット』のロマンチックな駆け引きや、映画『いつか晴れた日に』でいかに効果的に用いられているかなどを紹介。詩の持つ深く強い力に触れる時間となりました。

## 人文 TOPICS

### 企業と連携・協力し、社会人基礎力を養成

株式会社イスルギ大阪支社の第34回安全大会に、5名の学生たちが司会や社内表彰の補助として参加しました。イスルギは左官業を営み、国宝姫路城の大修復にも関わり、テレビ番組にも何度も取り上げられている企業です。学生たちは社内行事に参加するということでもかなり緊張していましたが、しっかりと役割を果たしました。これからも、企業や地域と連携した取り組みを通じて、学生たちの社会人基礎力養成を推進していきます。



### 先輩が語る人文学部の学び

6月8日の『専門基礎演習A』は、人文学部の卒業生で作家の多谷ビノ氏をお招きし、大学で何を学んだか、それが現在の自分にどのように生きているかを語っていただきました。卒業してから本学の科目履修生制度を利用して宗教文化士の資格を取ったこと、本学で学んだ文学や歴史、宗教などの知識が漫画の原作を書く際に役立ったことなどを伺いました。質問タイムでは多くの学生が手を挙げ、ビノさんがひとつひとつの質問に丁寧に答えてくれました。これから専攻を選択する2回生にとって有意義な時間となりました。





『相愛大学教員免許状更新講習(幼稚園)』  
『相愛大学幼稚園教諭免許状取得特例講座』

### 保育士・幼稚園教諭・保育教諭を 対象とした社会貢献と協働

子ども発達学科では、大学としての社会貢献、そして教育・保育現場との協働等の観点から、幼稚園教諭や保育教諭を対象とした『教員免許状更新講習(幼稚園)』と、保育士を対象とした『幼稚園教諭免許状取得特例講座』を開講しています。いずれも高い受講ニーズにも関わらず、開講数が少ない実態があり、子ども発達学科で取り組みを開始しました。本学科教員10名が各講義を担当しています。

『教員免許状更新講習(幼稚園)』は、南港学舎で8月8日～9日、8月21日～23日の5日間で実施。本学科学生の実習先・就職先の先生方をはじめ、101名が修了されました。「今後の保育につながる内容であった」などの感想をいただき、本講習が保育の質の向上につながる手ごたえを感じました。

『幼稚園教諭免許状取得特例講座』は、本町学舎で6月4日～12月9日にかけて5科目(1科目15回授業)を土日に開講しています。実施方法として、大阪府社会福祉協議会施設福祉部との協力体制による運営を試みしました。50名が受講し、「日ごろの保育を振り返り、改めて勉強できた」、「これで幼稚園教諭免許が取得できます」など、達成感や感謝の声をいただきました。



「教員免許状更新講習(幼稚園)」の講義風景



プロジェクト型  
アクティビティ

体験! 発見! 楽しく学ぼう!

# 夏休み自由研究 お助けシリーズ

プログラム一覧

- ペットボトルでクッキング ふわふわ生地からピザをつくろう!
- あわあわふくふく どちらが膨らむ謎に挑戦
- シャカシャカシェイクで生クリームがへんしーん! 乳製品の秘密
- マープリングに挑戦! 水のかたで模様をつかってあそぼう
- モグモグごっくん 食べ物の消化を食べて実感しよう
- 夏といえば海! 海藻の秘密を学んで、大阪近郊の海にひそむちりめんモンスターを探せ
- 牛乳パック変身! 再生紙をつくって「見る」
- パリパリしんなり! 紫からピンク色に!! 野菜とお漬物の謎に挑戦

人間発達学部では、地域の方と学生との「プロジェクト型アクティビティ」を年間20企画以上開催。8月実施の小学生対象「夏休み『自由研究お助けシリーズ』」(全5回)では、150名を超える小学生が参加。イキイキと活動に取り組む子どもたちをサポートすることにより、学生たちは社会で求められるコミュニケーション力や援助方法などを実践的に修得しています。



子ども発達学科

「マープリングに挑戦!」水のかたで模様をつかってあそぼう」では、インクを思い思いに水に垂らしてストローで吹くと、色鮮やかな模様が出て子どもたちは大興奮。お気に入りの模様は、うちわにして持ち帰りました。探究することの楽しさをたっぷりと感じられるプログラムでした。



発達栄養学科

「モグモグごっくん 食べ物の消化を食べて実感しよう」では、食品に含まれるでんぷんを「ヨウ素でんぷん反応」で調べたり、ふわふわカステラとおせんべいを食べた時の唾液の出かたを比べたり、唾液に含まれる消化酵素の強さを確認するなど、食べ物の消化について楽しく学ぶことができるプログラムでした。



### 学内プロジェクト型学修 相愛子ども わくわくあそび広場

今年で4回目となる「相愛子どもわくわくあそび広場」を10月28日に開催しました。あいにくの雨天でしたが、200名以上の地域の皆さんが参加。今年もたくさんの笑顔にふれることができました。

相愛大学 & 大阪ガス

### 「和食の魅力ー和食だし講座ー」を 子どもたちと!!

8月24日、大阪ガスハグミュージアムにおいて、地域の小学生を対象に、うま味を上手に使った伝統的な和食のあり方を考えるプロジェクトを開催。4回生8名が、子どもたちに上手なだし取り方や、みそ汁、だし巻き卵などの作り方を指導しました。また、食品ロスの削減についてわかりやすく伝えるために『残さず食べるノン!』という手作り紙芝居を作成。難しいテーマでしたが、発表を終えて学生たちは満足の様子でした。



発達  
栄養学科

相愛大学 & 京阪百貨店

### 3つの商品開発プロジェクトに参画!!

『美味笑福』おせち 第3弾!

京阪百貨店、デリケアとのコラボによるおせち第3弾「2018おせち料理」は、伝統食材を活かしながら、健康を気づかう方にも配慮した「洋風食材を取り入れた3世代で楽しめる『美味笑福』おせち」を開発。「チームで多くのアイデアを出し合い、見た目も華やかな仕上がりにとても満足です。」と学生。また、伝統食であるおせちの料理や食材の意味について考えていただく機会として「おせち料理すごろく」も作りました。



贅沢ふわとろ  
かぼチョコロール

オータムマドレーヌ  
ぎゅっパンプキン&  
たっぷりフルーツ

大好評!

### ジョフランとコラボ! 洋菓子3種類を開発

洋菓子ジョフランとのコラボで「いつもそばにいる大切な人と一緒に食べたいオータムスイーツ」をテーマに、ロールケーキと2種類のマドレーヌを開発。大好評で多くの方に購入いただきました。学生は6月の工場見学から10月まで新商品を生み出す難しさを体験しましたが、自分たちが開発した商品を店頭で販売でき、とても満足した様子でした。

### とんかつのKYKとヘルシー丼を開発 『大学レストラン』で販売!!



キャベツ畑の彩りヘルシーかつ丼

KYKと協働で、一般的なかつ丼よりもエネルギー300kcal、脂質20gも減少、さらに1日の1/3の野菜がとれるヘルシーな『キャベツ畑の彩りヘルシーかつ丼』を開発。守口店借事場に『大学レストラン』を期間限定で開設し、ヘルシー丼の販売だけでなく、骨密度測定や、子どもが楽しめる『しょいくひろば』などの来場者参加型ブースを展開。学生たちは連日交代で食育推進活動をして盛り上げました。



音楽科104名による合奏、合唱 エルガー作曲『威風堂々』を相愛大学音楽学部 中谷 満教授の指揮で演奏

## 記念すべき初の定期演奏会を開催

中学・高校

高校音楽科・中学音楽科進学コース

第1回定期演奏会

10月28日に、高校音楽科・中学音楽科進学コースによる第1回定期演奏会を開催。本校の長い歴史の中、初めての試みでした。昨年度から準備を進めていく中、記念すべき初開催にあたり、音楽科卒業生でテレビなどでも大活躍の斉藤雪乃さんに是非司会をと思ひ依頼したところ、快く引き受けてくれました。

斉藤さんの柔らかいキャラクターで、和やかに演奏会は始まりましたが、生徒たちの演奏はどれも熱

演で、超満員の会場からはたくさんの拍手が送られました。

「良かった!」というお声をたくさんかけていただいたプログラムは、やはり最後の『威風堂々』。中谷満教授の指揮のもと、オーケストラの演奏はとても素晴らしく、そこに合唱が加わり、会場いっぱい相愛の音が広がりました。この演奏会の意義を強く感じた瞬間でした。



司会でかけつけてくれた音楽科卒業生の斉藤雪乃さん。

高校

## 生徒たちが自主的に企画・運営 乙女コンサート

今年の乙女コンサートは、音楽科主催で6月に高校3年生、9月に高校2年生の出演で行われました。コンサートの運営は生徒自身です。今年は出演希望者が多かったため、開演前にロビーコンサートも行いました。舞台の上とは違って、カジュアルに楽しんでもらえたようです。次回の乙女コンサートは、高校1年生が1月、中学生が2月の予定です。



## 高校 2017年度 龍谷総合アドバンスト・プロジェクトに参加

高校2年生の長尾野々花さん、和氣彩乃さん、横谷愛理さんが、8月23日から25日にかけて龍谷大学・本願寺開法会館で行われた龍谷アドバンスト・プロジェクトに参加しました。

これは龍谷総合学園加盟の高等学校及び大学が連携して行うプロジェクトで、3人は「経営」分野においてプレゼンテーションを行いました。このようなプロジェクトに参加できたことは、彼女たちにとって貴重な経験になりました。



中学・放送部 全国制覇!

NHK杯全国中学校放送コンテスト 「アナウンス部門」で最優秀賞

8月18日、東京の千代田放送会館にて第34回NHK杯全国中学校放送コンテスト決勝大会が開催され、神館 光さん(中学・特進コース3年生)がアナウンス部門の全参加者996名の中で、最優秀賞を受賞。

アナウンス部門は原稿も自作しなければなりません。限られた字数にどのようなメッセージを盛り込むか、音声でどのように伝えるかが審

査のポイントとなります。神館さんはその両方ともに、録音提出直前までこだわって作品を仕上げました。今年はアナウンス部門に1名、朗読部門に2名、ラジオ番組部門に1作品が全国大会に出場し、決勝にも2名が進出するという快挙。複数名が決勝に進出した学校は全国でも数校しかありません。今年は相愛放送部の名を全国にとどろかせる夏となりました。



部室で発声練習をする神館さん

一緒に決勝へ出場した 藤澤さん(中学・進学コース3年生/写真左)、神館さん(写真右)

●神館光さん・インタビュー

## 努力の大切さを実感

第34回NHK杯全国中学校放送コンテスト「アナウンス部門」で最優秀賞を受賞した神館光さんが受賞に際してインタビューに答えてくれました。

— 決勝大会当日と結果発表時の心境は?

決勝では予選と同じ録音が審査されます。予選の講評で指摘された部分を修正出来なため、決勝でどう評価されるか不安と緊張がありました。審査結果発表で自分の名前が最後に呼ばれた時は本当に信じられませんでした。

— コンテスト出場に向けて特に努力したところは?

昨年、予選で敗退した時は練習不足もあって悔しい思いをしました。言われたことしかやらなかった反省をもとに、今回は自分の声を何度も録音して聞いてチェックしたほか、両親をはじ

めいりんな人に聞いてもらって助言をいただきました。

発声練習も去年は部活の時だけしかしていましたが、今年は毎日、家でも時間を見つけ



ては練習し、原稿作りも単なる作文ではなく、ニュース原稿として書くよう心がけました。

— 受賞に際して感謝していることは?

顧問の先生や高校の先輩は遅くまで練習につき合ってくれました。校内で聞いてもらっただけでなく、家に帰ってからアナウンスを録画してLINEで先輩に送って見てもらったり、電話をしながらリアルタイムでアドバイスをもらったり、本当に感謝しています。

— 今回の受賞を経て得たものは?

二つあります。一つ目は「聞いてくれる周囲の人々」のありがたさというのを感じることができたことです。二つ目は、原稿の中で引用させていただいた、王貞治さんの「努力は必ず報われる。報われなかった時は努力が足りなかった時だ。」という言葉です。この言葉を常に思い浮かべながら最大限の努力をすることで、このような結果を得ることが出来ました。努力の大切さをあらためて感じました。

— 今後の抱負は?

今後はアナウンス部門だけでなく番組部門でも頑張っていきたいです。そして来年は「NHK杯全国高校放送コンテスト」に出場して、また全国大会をめざしたいと思います。

「大阪市イノベーション創出支援補助金」による産官学連携の取り組み

高齢者食支援セミナー「誤嚥(ごえん)を防ぐために!! 食事と口腔ケアから」

10月15日に(株)ニッタバイオラボとの共催で、地域在住の高齢者の方々の参加のもと「高齢者食支援セミナー」を開催しました。

歯科医師と管理栄養士の資格を有する品川英明教授による「口腔ケアの基礎知識」の講義に始まり、発達栄養学科学学生による「笑いヨガ」や「あいうべ体操」の実践指導、口腔内診査、とろみのついたウェルカムドリンクや学生が開発したスイーツの提供、嚥下障害対応食へのアドバイスなど、様々な内容で実施しました。

終了後のアンケートでは、多くの方々から「参考になった」との回答を得ることができました。口腔ケアも含めた統括的な食サポートの必要性について理解を深めてもらう有意義なセミナーとなりました。



学びを社会へ  
学生たちの  
社会貢献  
活動

相愛大学&ニッタバイオラボによる「レシピ創造プロジェクト」第2弾!

健康レシピを学生たちが考案

昨年からの発達栄養学科の学生と(株)ニッタバイオラボがコラボして、ゼラチン、アガーを使った健康レシピを開発しています。第2弾の今回は、4年生24名が新たに、大量調理にも対応できるレシピの開発を行っています。作りやすさを考え、固めるだけでなく、高齢者の栄養や水分補給などゼラチンの機能性を活かし、学生の柔軟なアイデアを取り入れたレシピを7月～来年3月まで計10回発表。レシピ公開にあわせて、本学科教員による「ちょっとためになる健康・栄養情報」では、介護食への展開や摂食・嚥下障害に関するアドバイスも行っています。

新レシピはニッタバイオラボホームページにて毎月公開中  
<http://www.nitta-biolab.co.jp/st/r/2>



「健康レシピ」を高齢者のためのレシピに!  
地域の特別養護老人ホームで高齢者と実習!!

大阪市住之江区咲洲地区の南港咲洲特別養護老人ホームにおいて開催された「ホームクッキングクラブ」で、8～11月の4回、4年生12名が、高齢者とともに実習を行いました。学生の開発した「健康レシピ」を高齢者の栄養と水分の補給にもなり、さらに調理作業がリハビリにも繋がるように再考案。毎回30名の高齢者の方が参加され、試食後は「野菜あてクイズ」など楽しい食育タイムで交流を深めました。



11月3日  
乙女祭(文化祭)

相愛POWER全開!!



文化祭のテーマは相愛生のパワーを見せようということで「Powerful」今年も高校3年生のクラスが、たこやきやおでんを販売しました。購入待ちのたくさんの人で、長蛇の列が出来るほどの盛り上がりを見せました。他には、クラス発表や中学コーラスコンクール、また育友会を模擬店とバザーで参加され、同窓会は歴史を振り返ることのできるスペースを設けてくれました。

校内の様々な場所で誰もが楽しむことが出来る時間を、世代を越えてつくりあげることができた文化祭となりました。

全校生徒が一丸!!

9月26日  
中高体育祭



今年も生徒たちは、爽やかな汗と元気に走り回るプレーで魅せてくれました。

中1『大玉転がし』、中2『ロープジャンプ』、中3『25人26脚』、高1『台風の目』、高2『棒引き』、高3『クラスダンス』と各学年種目は大いに盛り上がりました。リレー種目ではクラスの団結力が発揮され、クラブ対抗リレーでは運動部に負けじと今年も教員チームが参戦しました。

中学生と高校生がひとつとなり、相愛生として同じ時間を共有し楽しむ。そういった姿を保護者の方々にもお見せすることができた体育祭となりました。

高校 グアム

11月8日、関西空港を出発し、修学旅行が始まりました。グアム到着後はKマートで旅行期間中の買い物、初めてドルでの買い物でした。ホテルではミスグアムに出迎えられ、ひとりずつ貝殻のネックレスを掛けていただきました。2日目は、戦没者慰霊公園、恋人岬などを見学。3日目は、グアム大学での交流会、午後はマリンスポーツを楽しみました。



中・高 修学旅行  
2017  
いざ南へ  
学びの旅

中学 沖縄

中学3年の修学旅行は沖縄に行きました。那覇空港到着後、平和学習として、平和の礎やひめゆり平和記念館などをめぐりました。特に、戦争時にひめゆり学徒隊の少女たちや傷ついた兵士が立てこもった糸数壕(アブチラガマ)では、当時の人々の極限状態の生活の跡を、生徒たちは真剣に見学していました。中学2年から平和についての学習を行っていましたが、今回の体験を経て、改めて平和の大切さを感じてくれたようでした。

2日目はホテル前のビーチでマリンスポーツ体験。バナナボートや、グラスボートに乗り、沖縄の美しい海と自然を肌で感じていました。午後からは、美ら海水族館に行き、たくさんの海の生き物を見学しました。

3日目は首里城を見学し、琉球王朝の歴史を目の当たりにしました。その後国際通りで買い物などをして、帰路に就きました。



入学後初めての宿泊行事  
貴重な体験で充実

オータムスクール in 東京



9月18日、中学2年生が2泊3日のオータムスクールで東京に向かいました。初日は相田みつを美術館や国立科学博物館を見学。築地本願寺では、お坊さん体験として本堂や境内の清掃を行いました。2日目に訪れた国会議事堂では、議長や委員に分かれて模擬国会体験をしました。寝食をともにすることで、生徒たちの絆が強まる研修となりました。



相愛大学附属音楽教室  
出身者による

# Summer Concert

2017年7月18日  
本町学舎 講堂



今年もサマーコンサートが開催されました。プログラム前半は教室生によるコーラス。田末勝志先生指揮、小柳祥子先生の伴奏で児童合唱のための「雨二モマケズ」を披露しました。少し緊張気味に舞台上が上がりましたが、田末先生のいつもの笑顔と指揮に導かれ堂々と歌うことができました。プログラム後半は、教室出身者の松岡伶奈さんによる演奏。音楽教室を修了し、たくましく成長して、再び教室のステージに戻ってきてくれることに感動を覚えました。

## 相愛大学附属音楽教室

### 2018年度 教室生 募集

**A日程 3月18日(日)**  
願書受付 1月29日~3月9日

**B日程 4月8日(日)**  
願書受付 1月29日~3月30日

募集対象=学齢2年前より大学受験生まで

「2018年度春期入室準備コース」開講中 **随時受付**

相愛大学附属音楽教室 通信教育《楽典》 **毎月受付**

お問合せ ☎06-6262-0662 <http://www.soai.jp/onkyo>  
※詳しくは募集要項をご覧ください。

## ● 本学教員の近刊図書 ●

### 積 徹 宗

親鸞100の言葉  
われわれを導く、本物の言葉

積徹宗 [監修]  
●宝島社(2017年1月発行)  
定価1,000円(税別)

維摩経 とらわれない、こだわらない  
(NHKテキスト100分de名著)

積徹宗 [著]  
●NHK出版(2017年5月発行)  
定価524円(税別)

歎異抄 信じる心は一つである  
(NHKテキスト100分de名著)

積徹宗 [著]  
●NHK出版(2017年9月発行)  
定価524円(税別)

### 荒井真理亜

谷崎と鏡花

須田千里、三品理絵、外村彰、大木志門、荒井真理亜 [編著]  
●おうふう(2017年3月発行)  
定価2,000円(税別)

聖地巡礼 Continued  
対馬へ日本の源流を求めて!

内田樹、積徹宗 [共著]  
●東京書籍(2017年8月発行)  
定価1,800円(税別)

落語に花咲く仏教  
宗教と芸能は共振する(朝日選書)

積徹宗 [著]  
●朝日新聞出版(2017年2月発行)  
定価1,400円(税別)

[本の紹介]  
第5回河合雄雄学芸賞受賞作。仏教を知れば、落語は何倍も楽しめる。宗教学者であり僧侶でもある著者が、小さい頃から親しんできた落語と宗教がじつは密接なつながりをもつことに着目し、歴史的に文化的に人間学的に読み解いた作品。

(出版社ホームページ [https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item\\_id=18822](https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18822) より)

万華鏡(和泉事典シリーズ33)  
ゆめいろ

浦西和彦、檀原みずす、増田周子 [編著] (荒井真理亜 他 [執筆])  
●和泉書院(2017年10月発行)  
定価3,500円(税別)

## コンクール入賞者

### 〈 高 校 〉

御厨 円香 (高2・声楽)	●第27回日本クラシック音楽コンクール 地区本選優秀賞 全国大会入選
中橋 天音 (高2・声楽)	●全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会・入選
糟野 優香 (高2・ピアノ)	●ベートーヴェン音楽コンクール 本選優秀賞 全国大会出場 ●第27回日本クラシック音楽コンクール 地区本選優秀賞 全国大会出場
菅野 市子 (高2・ピアノ)	●第27回日本クラシック音楽コンクール 地区本選優秀賞 全国大会出場
廣岡 和佳 (高2・ピアノ)	●第23回みえ音楽コンクール本選 奨励賞 ●第19回シヨバン国際コンクール in ASIA 全国大会出場
桶谷 優衣 (高2・フルート)	●第27回日本クラシック音楽コンクール 地区本選優秀賞 全国大会出場
中辻 葵 (高2・クラリネット)	●第32回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 大阪本選銅賞 全国大会入選 ●第27回日本クラシック音楽コンクール 地区本選優秀賞 全国大会出場予定
松蔭 ひかり (高2・チェロ)	●泉の森チェロコンクール 銀賞 ●全日本学生音楽コンクール チェロ部門 名古屋大会 高校の部1位 全国大会入選
谷本 沙綾 (高2・ヴァイオリン)	●第3回豊中音楽コンクール 高校の部 弦楽器部門 第1位 ●第71回全日本学生音楽コンクール大阪予選・バイオリン部門高校生の部 大阪本選 第3位 全国大会入選 ●第18回大阪国際音楽コンクール 第3位
西村 未来 (高3・声楽)	●第3回豊中音楽コンクール 本選入選 ●第27回日本クラシック音楽コンクール 優秀賞 全国大会入選 ●第71回全日本学生音楽コンクール 大阪本選入選
小島 美久里 (高3・ピアノ)	●第18回大阪国際音楽コンクール ファイナル入選
杉本 舞 (高3・電子オルガン)	●エレクトーンフェスティバル2017和歌山地区大会 金賞
吉田 優月 (高3・サクソフォン)	●第27回日本クラシック音楽コンクール 優秀賞 全国大会出場
光吉 奈央 (高3・フルート)	●第32回全国ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会入選
伴 結生 (高3・ヴァイオリン)	●第27回日本クラシック音楽コンクール 優秀賞 全国大会出場

### 〈 中 学 〉

松蔭 さとり (中2・ヴァイオリン)	●第71回全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 中学の部 大阪本選入選 ●第27回日本クラシック音楽コンクール 地区本選優秀賞 全国大会出場入選 ●第29回子供のためのヴァイオリンコンクール 中学生の部 金賞
和田 涼音 (中1・ヴァイオリン)	●第29回子供のためのヴァイオリンコンクール 中学生の部 金賞



音楽科  
コンサート報告

谷本 沙綾(高2・ヴァイオリン)  
●第3回豊中音楽コンクール  
受賞者記念コンサート  
10/22 ザ・カレッジオペラハウス

伴 結生(高3・ヴァイオリン)  
●第5回みおつくし音楽祭クラシックコンクール  
入賞者ガラ・コンサート  
4/15 阿倍野区民センター

### 〈 音 楽 教 室 〉

●第29回子供のためのヴァイオリンコンクール	第2部門B 第4部門B 第4部門 第4部門B	銀賞 銀賞・指導者グループ賞 銅賞 銀賞	澁谷 由梨奈 (小2) 澁谷 眞悠奈 (小5) 長田 莉子 (小5) 登木 絢音 (小5)
●第27回 日本クラシック音楽コンクール	奈良本選 地区本選 本選	優秀賞 優秀賞(全国大会出場) 優秀賞	澁谷 眞悠奈 ヴァイオリン (小5) 奥村 珠どり ヴァイオリン (小6) 酒井 琴音 ピアノ (中1)
●第19回関西弦楽コンクール	ヴァイオリン部門	優良賞 優秀賞 優秀賞・審査員賞 優秀賞	澁谷 由梨奈 (小2) 横尾 清市郎 (小3) 吉富 鈴音 (小3) 長田 莉子 (小5) 奥村 珠どり (小6)
●第11回 センリア国際音楽コンクール	弦楽部門 1・2年の部	奨励賞	吉富 鈴音 (小3)
●第11回 ベーテン音楽コンクール	ヴァイオリン部門	地区本選 最優秀賞 (全国大会出場)	奥村 珠どり (小6)
●第7回 バッハコンクール	小学校1年の部	全国大会 銀賞	大西 結子 (小2)※受賞時小1
●第41回 ビティナ・ピアノコンペティション	A1部 本選	奨励賞	大西 結子 (小2)
●第18回 大阪国際音楽コンクール	弦楽器部門	入選 エスポワール賞	登木 絢音 (小5) 奥村 珠どり (小6)
●第71回 全日本学生音楽コンクール	バイオリン部門	大阪大会 入選 大阪大会 入選 大阪大会 第3位	奥村 珠どり (小6) 久保村 桃香 (小6) 渡邊 紗蘭 (中1)
●あおによし音楽コンクール	弦楽器部門	おごそかな響き賞	吉富 鈴音 (小3)



学校法人 相愛学園  
2016(平成28)年度 財務状況について

概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表の計算書は、「学校法人会計基準」に定められた計算書であり、同会計基準による様式は補助金交付の観点からの表示区分となっているため、一般的に知られている企業会計の計算書とは異なる点が多くある。

(1) 資金収支計算書

この計算書は、当該年度の教育研究等の諸活動に係るすべての収支内容、ならびに支払資金(現金・預貯金)の収支の顛末を明らかにすることを目的としている。お金の動きをすべて網羅した計算書(いわゆる、キャッシュフロー)であるため収入には前受金収入、奨学貸付金回収収入等が含まれ、支出では借入金返済支出、資産運用支出等が含まれる。

① 収入の部

学生生徒等納付金収入の決算額は、18億8,566千円となった。手数料収入は入学検定料収入及び試験料収入等があり、19,980千円となった。寄付金収入は保護者会等からの一般寄付金で21,982千円となった。

補助金収入は、私立大学等経常費補助金、私立大学等研究設備費等整備事業補助金などの国庫補助金収入及び地方公共団体補助金収入の補助金収入が4億32,067千円となった。

資産売却収入は、ピアノ2台の下取りで938千円となった。

付随事業・収益事業収入は、高等学校・中学校の制服販売等購買部関係の売上を補助活動収入として27,572千円、大学附属音楽教室の収入を附属事業収入として17,246千円、不動産賃貸等による収益事業収入として1億2,196千円、教職免許状更新講習料523千円と合わせて1億47,537千円となった。

受取利息・配当金収入は、銀行等の預貯金利息で1,417千円となった。

雑収入は、その大部分を占める退職金財団交付金収入1億9,030千円となり、本町学舎の施設設備利用料その他の雑収入を合わせて1億34,887千円となった。

その他の収入は、1億87,307千円となった。主な要因として前期末未収入金収入が1億20,907千円と特別奨学金引当特定資産を40,000千円取崩し、教育充実引当特

定資産へ組入れることとした特別奨学金引当特定資産取崩収入である。結果、収入の部の合計は33億47,306千円となった。

② 支出の部

人件費支出は退職金支出を含め17億73,998千円となった。教育研究経費は、6億41,430千円となり、予算比56,133千円の減少となった。管理経費は、1億64,610千円となり、予算比10,142千円の増となった。

借入金等返済支出は、龍谷学事振興金庫への返済金27,000千円である。施設関係・設備関係支出は、合わせて67,358千円となった。主な内容としては、大学6号館1階にラーニングcommons「クマールム」の設置や設備関係の更新、改修工事等の実施経費である。

資産運用支出47,841千円は、各引当特定資産への繰入支出である。主な要因として特別奨学金引当特定資産を40,000千円取崩、教育充実引当特定資産へ組入れることとしたことである。

その他の支出の大部分は、前年度末未払金の支出で2億3,427千円である。資金支出調整勘定では、期末の未払金となった退職金及び所定福利費等を含んでいる。結果、支出の部の合計が、33億47,306千円となり、前年度よりの繰越した資金が6億28,232千円、翌年度への繰越資金が6億32,528千円と4,296千円の増加となり、また予算額6億17,252千円と比較すると15,276千円の節減ができた。

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書では「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の三区分別理となり、当年度の収支差額を出してから基本金組入額を差し引く形になった。

① 教育活動収支

学校の「本業」ともいえるべき、教育・研究活動に関する収支である。収入では学生生徒等納付金や施設整備目的以外の寄付金、経常費等補助金などを計上している。支出では人件費や教育研究経費、管理経費などがここに計上している。

教育活動収入合計は25億38,234千円、教育活動支出合計は28億59,532千円、結果、教育活動収支差額は3億21,298千円の支出超過となった。

② 教育活動外収支

学校の教育活動を側面から支える、財務的な活動や収益事業活動に係る収支である。収入では受取利息・配当金や収益事業収入など、支出では借入金等利息などを計上している。

教育活動外収入合計は1億3,613千円、教育活動外支出合計は398千円、結果、教育活動外収支差額は1億3,216千円となり、教育活動収支差額と合わせた経常収支差額は2億18,083千円の支出超過となった。

③ 特別収支

特別な要因によって発生した学校法人の臨時的な収支であり、収入では資産売却差額(売却益が出た場合)や施設整備に関する寄付金・補助金、現物寄付金などが、支出では資産処分差額(売却損が出た場合)や災害損失などをここに計上する。

特別収入合計は7,624千円、特別支出合計は54,328千円となり特別収支差額は46,704千円の支出超過となった。

これらの3つの収支を合計したものが「基本金組入前当年度収支差額」で2億64,787千円の支出超過となり、予算額3億15,453千円と比較して50,667千円節減できた。また前年度3億49,216千円の支出超過額と比較しても84,428千円改善された。

基本金組入額合計は81,820千円で基本金組入後の当年度収支差額は3億46,607千円となった。今年度は、学校会計基準の一部改正により第4号基本金の見直しを行い第4号基本金は2億8,000千円となり1億71,000千円の取崩となった。前年度繰越収支差額111億30,524千円の支出超過額と合わせて翌年度繰越収支差額は113億6,130千円の支出超過となった。

(3) 貸借対照表

この表は年度末の財政状態を表し、当年度末と前年度末の額の対比で変動を確認し、資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)別に計上している。

資産の減少は、減価償却と資産の除却損等の減少によるものである。負債においては、借入金長・短期合計で2億38,000千円である。

結果、翌年度繰越収支差額(累計額)は113億6,130千円の支出超過となった。学校法人は収入超過での繰越収支差額を目的とするものではない。とはいえ、財務の安全性を図り、収支均衡のためにも資金の積上げが不可欠な状況にある。

平成28年度決算

(1) 資金収支計算書 平成28(2016)年4月1日～平成29(2017)年3月31日まで

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,888,911,000	1,888,565,735	345,265	人件費支出	1,759,626,000	1,773,998,227	△ 14,372,227
手数料収入	23,866,000	19,979,940	3,886,060	教育研究経費支出	697,563,000	641,429,814	56,133,186
寄付金収入	22,261,000	21,981,861	279,139	管理経費支出	154,468,000	164,609,774	△ 10,141,774
補助金収入	431,652,000	432,066,960	△ 414,960	借入金等利息支出	398,000	397,500	500
国庫補助金収入	167,187,000	156,296,000	10,891,000	借入金等返済支出	27,000,000	27,000,000	0
地方公共団体補助金収入	264,465,000	275,770,960	△ 11,305,960	施設関係支出	37,250,000	36,937,234	312,766
資産売却収入	938,000	937,500	500	設備関係支出	18,173,000	30,421,126	△ 12,248,126
付随事業・収益事業収入	146,942,000	147,536,815	△ 594,815	資産運用支出	9,608,000	47,841,042	△ 38,233,042
受取利息・配当金収入	1,396,000	1,417,328	△ 21,328	その他の支出	216,429,000	208,363,405	8,065,595
雑収入	118,511,000	134,888,335	△ 16,377,335	資金支出調整勘定	△ 171,776,000	△ 216,219,818	44,443,818
前受金収入	268,663,000	242,480,600	26,182,400	翌年度繰越支払資金	617,251,627	632,528,045	△ 15,276,418
その他の収入	143,558,000	187,307,255	△ 43,749,255				
資金収入調整勘定	△ 308,939,000	△ 358,086,607	49,147,607				
前年度繰越支払資金	628,231,627	628,231,627					
収入の部合計	3,365,990,627	3,347,306,349	18,684,278	支出の部合計	3,365,990,627	3,347,306,349	18,684,278

(2) 事業活動収支計算書 平成28(2016)年4月1日～平成29(2017)年3月31日まで

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,888,911,000	1,888,565,735	345,265	教育活動収入計	2,529,684,000	2,538,233,667	△ 8549,667
手数料	23,866,000	19,979,940	3,886,060	人件費	1,670,843,759	1,668,399,062	2,444,697
寄付金	22,261,000	21,981,861	279,139	教育研究経費	1,044,713,000	985,062,250	59,650,750
経常費等補助金	431,652,000	427,476,960	4,175,040	管理経費	174,178,000	184,751,744	△ 10,573,744
国庫補助金	167,187,000	151,706,000	15,481,000	徴収不能額等	8,585,000	21,318,978	△ 12,733,978
地方公共団体補助金	264,465,000	275,770,960	△ 11,305,960	教育活動支出計	2,898,319,759	2,859,532,034	38,787,725
付随事業収入	44,483,000	45,340,836	△ 857,836	教育活動収支差額	△ 368,635,759	△ 321,298,367	△ 47,337,392
雑収入	118,511,000	134,888,335	△ 16,377,335	取戻金	1,396,000	1,417,328	△ 21,328
教育活動収入計	2,529,684,000	2,538,233,667	△ 8549,667	その他の教育活動外収入	102,459,000	102,195,979	263,021
人件費	1,670,843,759	1,668,399,062	2,444,697	教育活動外収入計	103,855,000	103,613,307	241,693
教育研究経費	1,044,713,000	985,062,250	59,650,750	借入金等利息	398,000	397,500	500
管理経費	174,178,000	184,751,744	△ 10,573,744	その他の教育活動外支出	0	0	0
徴収不能額等	8,585,000	21,318,978	△ 12,733,978	教育活動外支出計	398,000	397,500	500
教育活動支出計	2,898,319,759	2,859,532,034	38,787,725	教育活動外収支差額	103,457,000	103,215,807	241,193
教育活動収支差額	△ 368,635,759	△ 321,298,367	△ 47,337,392	経常収支差額	△ 265,178,759	△ 218,082,560	△ 47,096,199
取戻金	1,396,000	1,417,328	△ 21,328	取戻金	1,396,000	1,417,328	△ 21,328
その他の教育活動外収入	102,459,000	102,195,979	263,021	資産売却差額	938,000	937,500	500
教育活動外収入計	103,855,000	103,613,307	241,693	その他の特別収入	554,000	6,686,267	△ 6,132,267
借入金等利息	398,000	397,500	500	特別収入計	1,492,000	7,623,767	△ 6,131,767
その他の教育活動外支出	0	0	0	資産処分差額	0	2,561,414	△ 2,561,414
教育活動外支出計	398,000	397,500	500	その他の特別支出	51,766,727	51,766,727	0
教育活動外収支差額	103,457,000	103,215,807	241,193	特別支出計	51,766,727	54,328,141	△ 2,561,414
経常収支差額	△ 265,178,759	△ 218,082,560	△ 47,096,199	特別収支差額	△ 50,274,727	△ 46,704,085	△ 3,570,653
取戻金	1,396,000	1,417,328	△ 21,328	基本金組入前当年度収支差額	△ 315,453,486	△ 264,786,934	△ 50,666,552
その他の教育活動外収入	102,459,000	102,195,979	263,021	基本金組入額合計	△ 102,710,440	△ 81,820,039	△ 20,890,401
教育活動外収入計	103,855,000	103,613,307	241,693	当年度収支差額	△ 418,163,926	△ 346,606,973	△ 71,556,953
借入金等利息	398,000	397,500	500	前年度繰越収支差額	△ 11,130,523,519	△ 11,130,523,519	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	基本金取崩額	0	171,000,000	△ 171,000,000
教育活動外支出計	398,000	397,500	500	翌年度繰越収支差額	△ 11,548,687,445	△ 11,306,130,492	△ 242,556,953
教育活動外収支差額	103,457,000	103,215,807	241,193				
経常収支差額	△ 265,178,759	△ 218,082,560	△ 47,096,199				
取戻金	1,396,000	1,417,328	△ 21,328				
その他の教育活動外収入	102,459,000	102,195,979	263,021				
教育活動外収入計	103,855,000	103,613,307	241,693				
借入金等利息	398,000	397,500	500				
その他の教育活動外支出	0	0	0				
教育活動外支出計	398,000	397,500	500				
教育活動外収支差額	103,457,000	103,215,807	241,193				
経常収支差額	△ 265,178,759	△ 218,082,560	△ 47,096,199				
取戻金	1,396,000	1,417,328	△ 21,328				
その他の教育活動外収入	102,459,000	102,195,979	263,021				
教育活動外収入計	103,855,000	103,613,307	241,693				
借入金等利息	398,000	397,500	500				
その他の教育活動外支出	0	0	0				
教育活動外支出計	398,000	397,500	500				
教育活動外収支差額	103,457,000	103,215,807	241,193				
経常収支差額	△ 265,178,759	△ 218,082,560	△ 47,096,199				
取戻金	1,396,000	1,417,328	△ 21,328				
その他の教育活動外収入	102,459,000	102,195,979	263,021				
教育活動外収入計	103,855,000	103,613,307	241,693				
借入金等利息	398,000	397,500	500				
その他の教育活動外支出	0	0	0				
教育活動外支出計	398,000	397,500	500				
教育活動外収支差額	103,457,000	103,215,807	241,193				
経常収支差額	△ 265,178,759	△ 218,082,560	△ 47,096,199				
取戻金	1,396,000	1,417,328	△ 21,328				
その他の教育活動外収入	102,459,000	102,195,979	263,021				
教育活動外収入計	103,855,000	103,613,307	241,693				
借入金等利息	398,000	397,500	500				
その他の教育活動外支出	0	0	0				
教育活動外支出計	398,000	397,500	500				
教育活動外収支差額	103,457,000	103,215,807	241,193				
経常収支差額	△ 265,178,759	△ 218,082,560	△ 47,096,199				
取戻金	1,396,000	1,417,328	△ 21,328				
その他の教育活動外収入	102,459,000	102,195,979	263,021				
教育活動外収入計	103,855,000	103,613,307	241,693				
借入金等利息	398,000	397,500	500				
その他の教育活動外支出	0	0	0				
教育活動外支出計	398,000	397,500	500				
教育活動外収支差額	103,457,000	103,215,807	241,193				
経常収支差額	△ 265,178,759	△ 218,082,560	△ 47,096,199				
取戻金	1,396,000						

相愛大学入試日程

学部	種別	出願受付期間 (音楽・人文・人間発達共、 締切日消印有効・最終日は窓口受付可)	試験日	合否発表		
音楽	一般A入試	1月15日(月)～1月22日(月)※1	2月 1日(木)・2日(金)※2	2月 9日(金)		
	一般編入学後期試験		2月 1日(木)			
	音楽専攻科入試		2月 1日(木)・2日(金)			
	社会人特別入試		アートプロデュース専攻		2月 1日(木)	
	外国人留学生入試		音楽学・アートプロデュース専攻		2月 1日(木)	
	一般B入試		2月13日(火)～2月19日(月)※1		3月 1日(木)	3月 3日(土)
	一般C入試		3月 8日(木)～3月19日(月)【必着】		3月23日(金)	3月24日(土)
	大学院入試(後期選抜)	2月13日(火)～2月19日(月)	3月 1日(木)・2日(金)	3月10日(土)		
人文・人間発達	一般A入試	1月15日(月)～1月22日(月)	2月1日(木)	2月 9日(金)		
	社会人特別入試					
	一般編入学後期試験					
	留学生一般A入試(人文)					
	留学生一般A編入学試験(人文)	1月15日(月)～1月19日(金)※1	2月1日(木)	2月 9日(金)		
	外国人留学生入試(人間発達)					
	センター試験利用A入試	1月15日(月)～1月29日(月)	本学独自の試験は実施しない			
	一般B入試	2月13日(火)～2月19日(月)	2月28日(水)	3月 3日(土)		
	ファミリー(後期)入試(人間発達)		本学独自の試験は実施しない			
	センター試験利用B入試		3月22日(木)			
	一般C入試	3月 8日(木)～3月15日(木)	本学独自の試験は実施しない	3月24日(土)		
	センター試験利用C入試		3月22日(木)			
	寺院特別推薦C入試		3月22日(木)			
	寺院特別推薦編入(後期)入試(人文)					
留学生一般C入試(人文)	3月 8日(木)～3月14日(水)※1					
留学生一般C編入学試験(人文)						

※1留学生入試(音・人・発)の出願受付は最終日必着

※2音楽学部一般A入試の各専攻の試験日については、2018年度入学試験要項でご確認下さい。

●お問い合わせ先 相愛大学 入試課 電話：06-6612-5905 F A X：06-6612-6090

相愛高等学校入試日程

	1次入試
普通科	受付 窓口受付
	出願期間 1月22日(月)～2月2日(金)
	試験日 2月10日(土)
音楽科	受付 窓口受付
	出願期間 1月22日(月)～2月2日(金)
	試験日 2月10日(土)、2月11日(日)

※受付時間 9:00～16:00(平日・土曜とも、日曜・祝日は休み)

相愛中学校入試日程

	A日程(午前入試・午後入試)	B日程	C日程
受付	窓口受付	窓口受付	窓口受付
出願期間	12月20日(水)～12月25日(月) 1月9日(火)～1月12日(金)	12月20日(水)～12月25日(月) 1月9日(火)～1月13日(土)	12月20日(水)～12月25日(月) 1月9日(火)～1月15日(月)
試験日	1月13日(土)	1月14日(日)	1月16日(火)

※受付時間 9:00～16:00(平日・土曜とも、日曜・祝日は休み)

※12月23日(土・祝)、1月6日(土)は、9:00～13:00まで受付いたします。

●お問い合わせ先 高中事務室 電話：06-6262-0621 F A X：06-6262-0534

相愛学園 Event Guide

(2018年1月～3月)

(本) = 本町学舎 (南) = 南港学舎

- 元旦礼拝  
1月1日(月・祝) 11:00～  
本願寺津村別院(北御堂)本堂  
入場無料
- 相愛大学音楽専攻科修了演奏会  
1月14日(日)  
ザ・フェニックスホール  
入場料：1000円(全席自由)
- 親鸞聖人御正忌法要／  
学園関係物故者追悼法要  
1月16日(火) (本)講堂  
学園関係者対象
- 古楽器・アンサンブル演奏会  
1月23日(火) (南)ホール 入場無料

- 北御堂相愛コンサート  
1月25日(木) 12:25～12:45  
本願寺津村別院(北御堂)本堂  
入場無料
- 高校1年生 乙女コンサート  
1月27日(土) (本)講堂 入場無料
- 相愛中学校音楽科進学コース  
乙女コンサート  
2月3日(土) (本)講堂 入場無料
- 相愛高等学校音楽科 卒業演奏会  
1月17日(土) (本)講堂 入場無料
- 平成29年度人文学部公開講座  
『人文学を楽しむ』  
～心の世界を探検する～  
講師：益田圭 教授  
2月17日(土) 14:00～16:00  
(本)F604教室 入場無料
- 北御堂相愛コンサート  
2月22日(木) 12:25～12:45  
本願寺津村別院(北御堂)本堂  
入場無料

- 相愛大学特別演奏会助成公演  
オペラ『フィガロの結婚』  
2月23日(金)  
いずみホール  
入場料：3000円(座席指定)
- 相愛高等学校卒業奉告参拝／  
帰敬式  
2月26日(月)  
浄土真宗本願寺派本願寺(西本願寺)
- 相愛高等学校卒業式  
3月2日(金) (本)講堂
- 相愛オーケストラ  
第69回定期演奏会  
3月6日(火) いずみホール  
入場料：2000円(座席指定)
- 相愛中学校卒業奉告参拝  
3月9日(金)  
本願寺津村別院(北御堂)
- 相愛中学校卒業式  
3月10日(土) (本)講堂
- 相愛ウィンドオーケストラ  
ポップスコンサート  
3月11日(日) (南)ホール 入場無料

- 相愛大学卒業奉告参拝  
3月15日(木)  
本願寺津村別院(北御堂)
- 相愛大学卒業式  
3月19日(月) (南)ホール
- 相愛大学卒業演奏会  
3月20日(火)  
いずみホール  
入場料：1000円(全席自由)
- 相愛ジュニアオーケストラ  
第19回発表演奏会  
3月21日(水・祝) (本)講堂  
入場無料
- 相愛大学オープンキャンパス  
3月28日(水)  
(南)キャンパス 事前申込不要
- 北御堂相愛コンサート  
3月29日(木) 12:25～12:45  
本願寺津村別院(北御堂)本堂  
入場無料